



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

北川原公園予定地の土中から、廃プラスチックや軽油

ごみ搬入路整備を含む形で進められている北川原公園整備事業。この工事の途中で、土の中から廃プラスチックや庭石、タイヤ、軽油を含む土などが出てきたことが、明ら

かになりました。市は、廃材の処理や軽油を含む土の入れ替え工事には、1億4千万円かかるとしています。

原因者が誰かをはっきりさせずに、日野市が払うのか？

普通、不法投棄や土壤汚染が判明した場合に、まずは、その原因を突き止め、それを引き起こした「原因者」に処理を求めるが筋です。

ところが、今回の件で日野市は、廃材や軽油がなぜ、北川原公園予定地にあるのか、

誰がこんなことをしたのか、明らかにできていません。ここをうやむやにしたまま、日野市の税金で、廃材の処理や土の入れ替えを行うことは容認できません。

日本共産党日野市議団は、日野市に対して、原因者の特定することを求めています。

「1億4千万円」は、日野市がとった「見積もり」ではない？

また、多額の税金をつぎ込む工事の費用を見積もる時には、何よりもその正確さ、公平性、公正性が求められます。

しかし、今回の見積もりは、現在、北川原公園の整備工事を行っている事業者が、自分で処理業者から見積もりをとり、それ

を市に提出したものだということも判明しました。

市民の貴重な税金を使うのに、業者が提出してきた見積もりで良しとする姿勢には、厳正さが欠けているといわざるを得ません。

1月18日臨時議会で、工事契約等が審議されます

12月議会では、この追加工事のために1億4千万円を上限に工事費用を増やすことが、日本共産党以外の賛成で認められました。来年1月18日(木)午前10時、

臨時議会でこの追加工事に関する契約等の是非について審議されます。ぜひ、傍聴にお出かけください。

日野市議会都市農業振興議員連盟が発足



12月18日、日野市議会都市農業振興議員連盟（以下、議連）が発足、全議員が加盟しました。設立総会には、日野市農業委員会会長遠藤貴義氏、東京みなみ農協組合長小林和男氏も参加しました。

議連は、都市農業振興等に関する調査・研修等、関係団体との意見交換等を行っていく予定です。

農協組合長の小林氏は「農業基本条例制定など、日野市の取り組みは、全国に発信

されています。4年前の大雪の時は、市が直ちに支援策を決断したことで、国も動きました。一生忘れません。防災井戸や地域の子どもたちへの協力という形で返していきたいと思っています」と、あいさつされました。

議連の取り組みが、農家を力づける活動となるよう、日本共産党市議団も力を尽くします。

日本共産党演説会 小池あきら参議員来る！

2月3日(土)午後2時～4時

日野市民会館大ホール 送迎バス、手話通訳、保育あり

畑だより

左から時計回りに、ネギ、大根葉、かぶ、ブロッコリー、カリフラワー
誰かさんが「なんで、畑に来ないでこんなによくできるのかなあ」と、つぶやいておりました...

実は、畑仲間のみなさんの、フォーがあったからなのですよ

